

### 教材の「学校備品化・貸与制」導入による保護者負担の軽減を

**Q** 算数セットや裁縫セットなどは特定の学年で短期間しか使わないにもかかわらず、個人購入が一般的で、多くの保護者から経済的負担が重いという声が上がっている。全国では大田区・品川区・つくば市などで学校備品化・貸与制の導入が広がり、文部科学省も令和7年6月に備品化を促す通知を发出し、地方財政措置まで講じている。本市でも既に1校が備品として購入している事実がある以上、全校展開できないはずがない。教材や制服などの学用品にかかる保護者等の負担軽減について、現在の取り組みと、文部科学省の通知を踏まえた学校備品化・貸与制の全校展開へ向けた見解を伺う。

**A** 教育委員会では学用品にかかる保護者負担の軽減を図るため、各校の取り組み事例を把握・共有している。主な事例は三点。第一に、算数セットや裁縫セットの一部を学校備品として整備する「教材の学校備品化」。第二に、運動着・水着・通学カバン等で同等品の使用を認める「学用品の自由化」。第三に、不要となった制服を回収し必要な家庭へ提供する「制服の低廉化やりユース制度の導入」である。今後は文部科学省の通知とともに校長会を通じて周知し、保護者負担の一層の軽減に取り組んでいく。



### 令和7年6月定例会

## さいたま市議会議長・副議長選挙実施

令和7年6月12日、第22代議長に伊藤仕議員(自由民主党さいたま市議会議員団)、第22代副議長に谷中信人議員(公明党さいたま市議会議員団)が選出。

帆足和之前議長の後を引き継がせていただき、品行あるさいたま市議会を目指し、公正公平な議会運営に努めさせていただき所存でございます。59名の各議員の皆様方の御指導を賜りながら務めさせていただき所存でございます。(令和7年6月12日本会議録速報版より一部引用)



6月定例会の様子、伊藤 仕議員

## 自由民主党さいたま市議会議員団

※ご意見などはお近くの議員又は関連する委員会若しくは会派役職の議員にお聞かせください。

**浦和区 8期 青羽 健仁**

- 子ども文教
- 決算
- 市庁舎等整備検討

**岩槻区 3期 新井 森夫**

- 総合政策
- 予算(副委員長)
- 大都市行政ビジョン(委員長)

**北区 4期 伊藤 仕**

- まちづくり
- 第22代さいたま市議会議長(委員長)

**南区 6期 桶本 大輔**

- 市民生活委員会
- 政治倫理
- 超高齢化社会に向けた公共交通の在り方検討

**緑区 3期 都築 龍太**

- 保健福祉
- 決算
- 議会改革推進(副委員長)

**南区 1期 津和野 眞佐子**

- 総合政策(副委員長)
- 予算
- 議会改革推進

**桜区 4期 土橋 勇司**

- 保健福祉(委員長)
- 決算
- 大宮駅グランドセントラルステーション化構想
- 市庁舎等整備検討

**南区 7期 萩原 章弘**

- まちづくり
- 大宮駅グランドセントラルステーション化構想
- 議会広報編集

**浦和区 5期 帆足 和之**

- 子ども文教
- 予算
- 大都市行財政将来ビジョン

# 自由民主党 さいたま市議会議員団 広報紙



発行 自由民主党さいたま市議会議員団 さいたま市浦和区常盤 6-4-4 TEL 048-829-1810 FAX 048-833-6665 発行責任者 都築龍太

## 団長挨拶

日頃より自由民主党さいたま市議会議員団並びに各議員の市政活動に対しご理解、ご指導を賜り心よりお礼申し上げます。本紙では各議員の議会発言を中心に活動の一部を報告させていただきます。

令和7年度には定例会をはじめ、市民の皆さまからいただいたご意見をもとに、健康福祉や子育て支援、教育、まちづくり、防災、環境、市内経済はもちろん、早急に対応が必要な物価高騰対策など各施策について提案をいたしました。また、令和7年9月には市長に対し125項目にわたる〈令和8年度予算編成に対する要望と政策提案・提言〉を行い、令和8年1月に回答書を受け、2月の予算委員会にて令和8年度当初予算の審査をいたしました。\* 要望書につきましては、後段に掲載しております。

引き続き健全な市政・財政運営を基盤とした市民サービスの向上を強く求め、さいたま市の発展に貢献できるよう努めてまいります。

団長 都築 龍太



南区選出 萩原 章弘 浦和区選出 帆足 和之 南区選出 桶本 大輔 桜区選出 土橋 勇司 緑区選出 都築 龍太 岩槻区選出 新井 森夫 浦和区選出 青羽 健仁 南区選出 津和野 眞佐子 北区選出 伊藤 仕

※『自由民主党さいたま市議会議員団「令和8年度予算編成に対する要望及び政策提案・提言について」の回答』(令和8年1月、さいたま市)



さいたま市の花 さくらそう

### おしらせ

## 12月定例会、物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金に関する議案等が可決されました。

詳しくは市ホームページからご確認いただけます。



水道料金基本料金減額: 令和8年4月検針分から令和8年7月検針分まで(4か月分)基本料金が減額されます。



プレミアム付デジタル商品券: さいコイン加盟店で利用できるプレミアム率50%のデジタル商品券が発行されます。



令和8年2月17日 保健福祉委員会

土橋 勇司 議員 桜区

## オープン委員会でさいたま市初の試み!!

令和7年度は、委員長として、保健や医療、病院など、市民の健康づくりや福祉施策に関する事項の審査や調査研究を行う保健福祉委員会を担っています。

今回、所管事務調査の一環として、「福祉的観点から見た情報コミュニケーション」というテーマのもと、学識経験者によるご講演や質疑応答、意見交換を通して学識経験に基づく意見を伺い、広く市民



の皆様に情報を発信してその理解を深めるためのオープン委員会を開催しました。50名を超える市民の皆様にもご参加のもと、多くのご発言も頂き、併せて、「手話通訳」「要約筆記」「リアルタイム文字起こしシステム」の3つを同時に導入して委員会を開催するという、さいたま市議会として、初の試みとなる取り組みでした。インクルーシブ社会の理解を深めると共に、「違い」を価値として認め、社会参画において公正な機会が保障されるよう施策を進めて参ります。



## 学校規模に課題を抱える武蔵浦和駅周辺地域、早急な解決を

Q 武蔵浦和駅周辺地域の学校は、学校規模に課題を抱え、再開発事業等によるまちづくりの進展により今後も児童生徒の増加が見込まれる。この地区の教育環境改善と教育の質の向上のため義務教育学校の設置を決定したと認識しているが、入札不調による教育環境への影響について教育委員会事務局の見解は。また、設置の意義を改めて伺う。



A 令和10年4月の開校が見込めなくなったことについて新しい学校に期待を寄せている子どもたち、保護者、地域の方々に動揺を与え、心配をおかけし、心よりお詫びを申し上げます。  
開校遅れによる影響について、児童生徒数の推計教室数などを勘案しながら精査している。武蔵浦和駅周辺地区には再開発地域があることに加え、国の人口推計でも、2040年において5%から20%の人口増加が見込まれている。中学校の35人学級導入も控えており、過大規模校、大規模校については、喫緊の課題として解決すべきと考えている。設置意義については、都市化により大規模校・過大規模校が継続するという課題を解消し、より良い教育環境と充実した学びを提供するために導き出した方策が、新しい義務教育学校の整備である。

## 浦和美園エリア、市主導による土地利用とまちづくりを

Q 順天堂大学附属病院等整備予定が中止になったことにより、市有地の利用について市が責任を持ち主導すべきと考える。県有地と隣接しているが、情報共有は行っているのか。また、今後は市主導で美園地区発展のために地元への説明実施はもちろん、民間活力の取込みなど広く検討すべきと考えるが、市の見解は。



A 市有地については、利活用方法を市が主体的に検討していくべきものとする。一方で、整備予定地であった市有地と県有地は隣接していることから、継続的に情報交換等を実施している。当該市有地は、本市の副都心である美園地区に位置しており、大変重要な土地である。当該市有地については、将来の地下鉄7号線の延伸など、「美園地区」の今後の更なる発展を踏まえた地域の特性やニーズの把握、より効果的な土地利用の検討を進めるため民間事業者による利活用のニーズ把握も行い、地域の皆様とのコミュニケーションをしっかりと図りながら利活用を検討していく。御指摘の地区計画を含む都市計画の扱いについては、「美園地区」の将来を見据え、地域の皆様との合意形成を図りながら、土地利用検討を進めていくなかで適切に対応し、望ましい土地の利活用につなげていく。

## さいたま市の目指す交通体系とは

Q 昨今、市内ではバスの運転士不足などでバスの減便や路線廃止などが発生している状況だが、他市では路線バスの再編等で、公共交通の効率化を図り維持・確保に努めている事例もある。さいたま市では現在の社会情勢を踏まえ、どのような交通体系を目指し、地域公共交通を維持・確保していくのか見解を伺う。



A 「さいたま市総合都市交通体系マスタープラン」は、今年度末に改定を予定しており、将来迎える人口減少や少子高齢化などを見据えた新たな交通ネットワークの構築を目指している。本市の強みである鉄道網を「幹」、通勤や通学などの利用者が多いバス路線を「枝」とし、バス路線は、運転士不足対応や利用者の利便性向上を図り、路線や運行頻度等のサービス水準を維持・向上していくための施策に取り組む。生活圏での暮らしを支える「葉」の交通については、路線バスの活用と併せ、コミュニティバスや乗合タクシーのほか、グリーンスローモビリティなどの導入について、地域と連携しながら進める。利用者の目的に応じ、多様な移動手段を快適に利用できる交通体系の構築を目指していきたい。



私たちの考えはホームページをご覧ください。ご意見などをお待ちしています。  
<https://jimin-saitamacity.jp>

自由民主党さいたま市議会議員団

検索

## 都市計画道路上野長宮線、踏切立体交差化の進捗は

Q 都市計画道路上野長宮線における東武野田線との交差部は、ボトルネック踏切で改良が必要な踏切と位置づけられているが、立体交差化に向けた取組みについて伺う。また、同時期に計画された南辻新曲輪線はアンダーパスに変更されたが、上野長宮線の立体交差化をアンダーパスとして整備する可能性について伺う。



A 都市計画道路上野長宮線は、岩槻区古ヶ場1丁目から春日部市大字増戸を結ぶ、延長約4.1kmの都市計画道路で、国道16号バイパスから主要地方道さいたま春日部線区間の県道野田岩槻線において春日部市区間の延長430mを埼玉県にて整備を進め、令和8年1月24日に開通を予定。さいたま市区間は、東武野田線との立体交差部の延長、約410mの区間が未整備だが、さいたま市道路整備計画に位置づけがなく整備時期は未定となっている。当該箇所は春日部市区間の供用開始に伴う国道16号バイパスからの流入や令和7年3月に開通した国道122号蓮田岩槻バイパスへの交通量の転換など、交通状況の変化が想定されるため、周辺地区の交通状況の把握を行う。上野長宮線の踏切立体化については昭和41年の都市計画決定時と沿道の状況も変化しているため、事業化にあたっては施工性・経済性を考慮し、検討する必要があると認識している。

## 市内医療体制の維持のため、具体的な対策や支援を

Q 物価高騰等を背景として、さいたま市民医療センターの赤字が続いている。市は設置主体としての責任を持ち、運営主体である病院ときちんと協議すべきと考える。現在の支援内容と、長期的な視点での経営改善について市の考えを伺う。



A さいたま市民医療センターは、土地、建物を市が整備し、社会医療法人が運営する病院で、救急告示病院、地域医療支援病院等に指定され市西部地域の基幹病院として重要な役割を担っている。提出された決算届によると、2年連続で最終欠損が4億円を超え厳しい状況が続いていると認識している。現状の支援として、土地及び建物の整備、無償貸付、設備更新及び500万円以上の修繕は市が行うことや、長期修繕計画に基づく修繕等により下支えしている。長期的な視点での経営改善については、ともに検討することができると考えている。病院側に原因を的確に分析・把握をしてもらい、具体的な対応策について、誠意をもって協議していきたいと考えている。

## 「香り」を用いたさいたま市の更なる魅力発信を

Q 「さいたま市の香り」を開発し、シティープロモーションに用いることについて10年前に提案したが、なぜ今回開発することとなったのか。発表までのプロセスと今後の展開について伺う。



A 本市は令和7年度の大阪・関西万博の出展に向けて新たなおもてなしの手段を模索していた。出展テーマの「盆栽」、「人形」と併せて、さいたま市らしさを演出する手法として「香り」をプロモーションに活用することとなった。展示ブースで好評であったことから、「都市イメージの向上」や「地域の魅力発信」に繋げることができると考えた。また、さいたま市をイメージした「香り」を決める市民投票イベントを開催し、最多票を獲得した「香り」を決定した。ノベルティ配布や香りが苦手な方への配慮をした上でのイベントでの活用、市内企業との連携など、新たな観光資源として市内外の皆様にPRしていく。



質疑の様子はさいたま市インターネット中継からもご覧いただけます。  
<https://saitama-city.stream.jfit.co.jp>

自由民主党さいたま市議会議員団は、皆様からのご意見をお待ちしております。  
ご意見やお問い合わせはこちらから

